

第 304 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 26 年 9 月 9 日 (火) 11:50~13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Rainbow Fly-Day DX
[放送日時] 平成 26 年 8 月 1 日 (木) 11:30~16:55
[出演者] kainatsu、辰巳健太郎
4. 出席者 [委員] 委員長 出口泰規 委員 木宮敬信
委員 角田哲康 委員 小野晃司 委員 山本りさ
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一
常務取締役放送事業本部長 上野豊
放送事業本部副本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史
編成制作部 安原明子

5. 事務局報告

- バカボン鬼塚を起用した特別番組 (8 月 15 日実施)、2015 年度新卒社員アナウンサーの採用、専門家を招いた番組検証会など、「番組の質的アップ」を目途とした編成制作部の取り組みについて。
- 上期中間決算の見通しについて。
- AM 局の FM 波活用計画の現状について。
- 民放連放送基準 109 条の条文改正に伴う、番組審議会への諮問、答申。「諮問事項は妥当である」との答申を得る。

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix Rainbow Fly-Day DX
- [放送日時] 平成 26 年 8 月 1 日 (土) 11:30~16:55
- [番組内容] kainatsu と、辰巳健太郎の絶妙なコンビネーションと、リスナーとのクロス・コミュニケーションを軸に、5 時間 25 分をカラフルに彩る。前半部分は“エナジーチャージ”として、K-mix のオリジナルチャートのカウントダウンを中心に展開。後半部分は“ウィークエンド・フライング・スタート”として、レジャーやスポーツなどの週末情報を届ける。

[聴取・合評での主な意見]

- 山本委員 番組のオープニングが聴き易く、番組に入り易い。これならずと聴き続けようという気になる。カウントダウンのコーナーでは、オープニングとテンションが変わり、カウントダウンらしい雰囲気になって

いる。「フットボールパーク」のコーナーでは、二人共通の興味対象であるサッカーのことを取り上げているので、楽しい雰囲気が出る。全体的に二人の掛け合いが自然で聴き易い。ローソンのコーナーでの kainatsu さんの「ハラミ」の発音はおかしい。

角田委員

長時間の番組なので、どこにリズムを置くかがポイントだ。以前と比較して、kainatsu さんがつまらなくなっていると思う。彼女でなくてもいいのではと思える点はいくつかある。彼女の個性が出ておらず、自分を抑えているように思う。二人の間で「互いにツッコミ合う」ことができていない。リズム感はあるが、二人で番組をやっている意味が薄れている。辰巳さんは「投げっ放し」で、kainatsu さん辰巳さんに「引きずられすぎ」だ。また、辰巳さんは声に響きがないので早くしゃべるところでは聴きづらくなる。

木宮委員

前回の審議の時は、二人の役割がはっきりしていない印象があったが、それは解消されている。ただし、二人で折り合いをつけたという点はよいが、辰巳さんがメインで、kainatsu さんがアシスタントという印象があり、それでいいのか？というのはまた別問題だ。二人の会話の途中で時々話が詰まるところがあり、その一瞬の間が気になる。「フットボールパーク」のコーナーで、コメンテーターの澤田さんと辰巳さんのテンションや声質が似ているので、誰がしゃべっているのかがわかりづらい。澤田さんがどういう立場で出演しているのかを明確にする必要がある。水窪のジャガイモの情報は興味をそそる情報で丁寧に紹介されていたが、例えば、イベント主催者に電話をつないで直接話を聞いてみてもよかったのではないかな。

小野委員

平日から週末への橋渡しの役割としての番組の組み立てはできている。Kainatsu さんと辰巳さんのキャラクターが以前より被ってきているような感じがする。気軽さを表現してそれを個性としようとしているが、それが個性にはなっていない。テレビっ子世代の特徴かもしれないが、耳から聴いた情報を、頭でイメージして表現する能力を、もっと高めないといけない。私も kainatsu がパーソナリティである必然性をあまり感じない。

出口委員長

二人のどちらが番組の柱なのかがわからない。kainatsu さんが辰巳さんに引っ張られている感じがする。二人に限ったことではないが、案外、ラジオ・パーソナリティは閉じこもった環境で仕事をしていて、世間知らずの人が多し。体験の数が少なく、人から聞いたことだけで、

物事を判断するきらいがある。kainatsuさんの場合、もし知らなかったり分からなかったりすることがあったら、「わからないことはわからない」とはっきり言った方がいいのではないか。

会社サイド

前回（第 303 回）では、パーソナリティの成長を評価していただいた一方、パーソナリティの番組での立ち位置の明確化などについてご意見をいただきました。いただいたご意見は番組作りの参考とさせていただきます。今回（第 304 回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成 26 年 10 月 14（火） 11:50～13:30 を予定

以上

番組審議会委員長

出口 泰 規